



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

タイムイズマネー。

こんな話を聞いたことがある。

自分のやりたいことのためにどうしても必要な道具がある。それは高価で今の自分には手が届かない。それを手に入れるには10年間の貯金が必要。A君はお金を貯めて買うことにして、B君は借金をして手に入れた。10年後、A君は貯めたお金でやっと道具を手に入れてスタートをきり、B君は10年間で返済しながら腕を磨き対価を得るまでになった。

…目からうろこ。10年後の違いは一目瞭然。これを聞いて私は初めて"自己投資"の大切さを知った。そして私が鍼灸学校に通いたいけど高額な学費が…と悩んでいた頃、まだ若い！そんなのなんぼでも返せるわ！と母が背中を押してくれたのを思い出した。

あれがなかったら私はまだ学校にも行けてなかったやろな。その時は自己投資っていう概念はなかったけど、せっかくそうしたんやからその分きっちり生かしてこれからは役立てたい。投資っていうのは回収してこそらしいし、回収ってのは必ずしもお金ではなくて、かけた時間とお金以上の価値を得られたかでもあるし。それはそれでもう得られとるような気もするけど、歌でも鍼灸でもまだまだ誰かの、何かの役に立ちたいと思う。

さ、回収！回収うー！

(テノヒラkiku)



本日！海日和！！ vol.138

「鎧」

5月5日は端午の節句だ。最近は少子化の影響か住宅事情からか、鯉のぼり見ることも少なくなってきた。家の中のことは分からないが、鎧兜や張り子の虎よろいかぶとを飾っている家庭は、まだまだ多いのではないだろうか。

海の中には、鎧をまとったような生き物が多い。身近なところでは、ウニやヒトデの仲間がそうだ。ウニは鋭い棘で、ヒトデは堅い殻よろいかぶとで身を守っている。中にはオニヒトデのように、鋭い棘と堅い殻、さらに猛毒で鉄壁の守りをしているものもある。

ヒトデは人の手のように見えるから「人手」と呼ばれている。英語では「star fish(星の魚)」、ドイツ語やフランス語では「海の星」と呼ばれている。外国では、星に例えられることが多いようである。



【ジュズベリヒトデの仲間】

体は堅く毒性があり、可食部分もほとんどないため、食べることはできない。まさに煮ても焼いても食えない生き物だが、見た目が星に見えて美しいため、乾燥させてお土産として売られていることがある。やはり一番たくましいのは人間のようである。

(撮影地：瀬ノ浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照ともてる